

# 弓とともに歩んだ町・利府町～「弓道スポーツ文化ツーリズム」プロジェクト！

スポまち！表彰2025  
③宮城県利府町

＜目標＞ 計画期間：～令和9年3月31日

- ①地域への関心度の向上 →体験参加者へのアンケートを実施し「利府町への関心が高まった」と回答した方が80%以上
- ②町SNS（インスタグラム）のPV数増加 →体験紹介動画のPV数 1,000PV以上
- ③体験プログラム及び弓道体験会に関わった町民の数の増加 →運営ボランティア協力人数 延30名以上

## ＜PRポイント＞

- ◎町にゆかりのある「弓道」を基軸とした新たなスポーツ文化の創造にチャレンジ！
- ◎「スポーツ×歴史文化×観光」の連携により、町の課題をマルチに解決！
- ◎インナーとアウトスポーツの両輪で「するひと」「みるひと」「ささえるひと」の多様な関わりによるまちづくりを実現！

## ＜現状・課題＞

利府町は2002年FIFAワールドカップなど多数の大規模スポーツ大会の開催場所となってきたが、「利府町独自のスポーツ文化」と問われると心もとない感があった。  
仙台空港や仙台港から30分圏内とアクセス性に優れ、町内には3つのJR駅と4つのインターチェンジがあり、優れた立地性に恵まれているものの、既存資源を生かしたインバウンド観光ルートができていない。

## ＜総合的な取組内容＞

### 【アウト側施策】文化体験型武道ツーリズムコンテンツの造成

- ①お呈茶カフェと“利府を知る入口”体験  
利府町に伝わる弓文化の歴史や精神性にふれる“入口体験”
- ②「利府の弓がよみがえる物語」～新たなスポーツ文化の創造に向けて～  
利府町の弓文化の再発見から「利府スポーツ流鏑馬大会」創出に至るまでの背景を映像で可視化
- ③利府町の歴史文化×伊達文化 × 伊達弓道：しきたり体験プログラム  
伊達家に伝わる弓術を体験用にアレンジした『伊達印西派弓術体験プログラム』の提供
- ④伝統工芸ワークショップ
- ⑤歴史コスプレ × フォトセッション
- ⑥地元弓道強豪校との交流（利府高校等）  
競技を媒介とした異文化コミュニケーションの場を創出し、教育に新たな付加価値を生み出す

### 【インナー施策】もののふ会の設立

上記コンテンツの実施に町内住民、弓道経験者等に参加いただき、

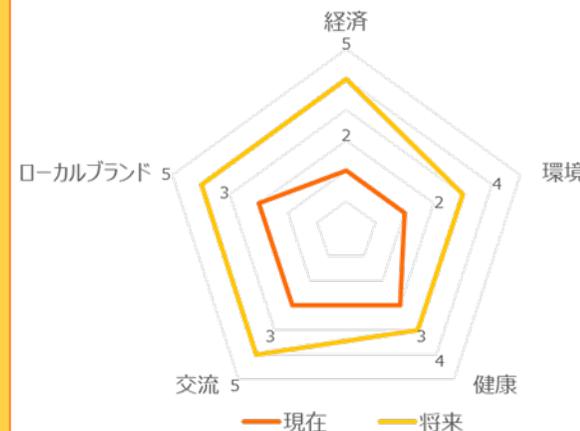
- ①弓道場の管理
  - ②ツアーのランドオペレータ
  - ③歴史伝承
  - ④弓道指導
- などマルチに対応できる「(仮称)もののふ会」の設立に向けた足がかりとする。



## ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



## ＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号



利府町スポーツ振興課  
022-767-2190